



## File 02

# 穏やかな光と風を呼び込む、 中庭のある平屋の邸宅。

OSCAR'S special issue

— 平屋暮らし —

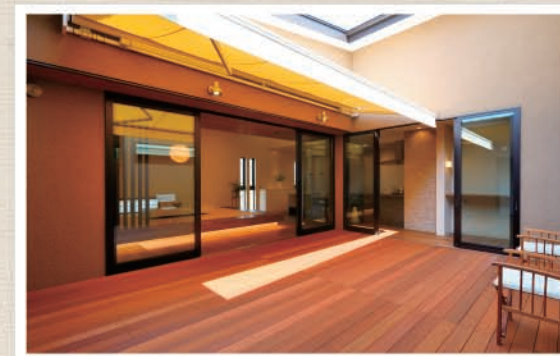
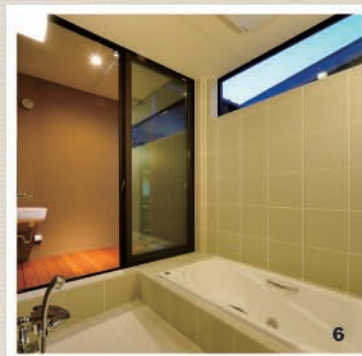
「家を建てるのなら、あえて無駄とを感じるような、ゆとりのある平屋にしてみようか」。注文住宅を手がける「コムハウジング」の建築士である施主・賀山さんは、父親からのこのアドバイスもあり、両親から譲り受けた郊外の広大な敷地に、昨春、建築士としての思いを詰め込んだ自邸を建てた。

家族の要望に合わせて、和モダンのテイストで統一された住まいの中心には、「コムハウジング」が得意とする中庭を設け、口の字型に回遊できるようにLDKや各居室を配置。また、「コンクリート調の斬新な色合いにひと目惚れした」という「キッチンハウス」のシステムキッチンに合うよう、キッチン周りにタイルを施したアクセント柱、床材にはウォールナットの無垢材を採用。居心地がよく落ち着きのある空間に仕上げた。そして、リビングに取り入れた小上がりの畳コー

ナーは、足を伸ばして寛げる、家族のお気に入りの場所になっているのだとか。「ワンフロアなので、どこにいても家族の気配を感じられます。階段の上り下りがないため、将来的な生活面の不安も軽減されました」と、その仕上がりに感慨深げだ。

「コムハウジング」では、「周囲の環境に左右されることなく寛げる家」をコンセプトにした、中庭のある暮らしを提唱している。「外からの視線を気にしなくてよいので、カーテンが必要ありません。大きな窓からは光や風がぞんぶんに入ってきて、実際の面積以上の広がりを感じています」と賀山さん。休日には、中庭でバーベキューを愉しんだり、レジャーシートを敷いてピクニック気分を味わったりと、家で家族と過ごす時間が増えたと実感している様子。「家は家族が仲よく暮らすための箱だと考えています。まずは、家づくりの夢を語るところから始めてみませんか」と、建築士としての立場で話す。多くの理想を叶える、高い品質と責任ある家づくりを徹底している会社を選びたい。

1. 屋根の形状を生かし、キッチン、ダイニング、畳コーナーそれぞれの天井高を変えることで、視覚的にスペースを分離している。  
2. 中庭とリビングダイニングの床をフラットにつなぐことで、内と外との一体感を表現。3. 床と畳との間にあえて35cmの段差を設け、そこに間接照明を配置。建築士ならではの美的センスがフルに発揮されている。4. LDKでひと際目を引く、「キッチンハウス」のスタイリッシュなシステムキッチンは奥さまのお気に入り。5. 照明が映える、シンプルモダンな外観。6. 素材感を愉しめる浴室。洗濯物を干すことのできる、多目的コートにつながっている。



### ▶ pick up

光と風に満ちた中庭のあるのびのびとした暮らし。

平屋のセンターに中庭を設けることで、隣家や道路からの視線を遮り、開放感とプライバシーに配慮した暮らしを実現。また、日射しを和らげる電動オーニングによって、屋外でのバーベキューや趣味の時間も思うぞんぶん楽しむことができる。

## 株式会社 コムハウジング

岡山市北区十日市中町6-22

☎ 0120-67-2102

◆ 営 / 10:00~17:00

◆ 休 / 水曜、祝日（時間外は要予約）

◆ P / 7台

http://www.comhousing.com/